

学校 番号	23	学校名	長野県更級農業高等学校
----------	----	-----	-------------

## 平成 26 年度 学校評議員活用状況報告書

### 第 2 回学校評議員会 【平成 27 年 2 月 19 日（木）開催】

#### 1 実施概要（協議研究事項を含む）

- (1) 参加者  
学校評議員 3 人(欠 4)、学校関係者 10 人（校長・教頭・事務長・教務主任・生徒指導主事・進路指導主事・生徒会主任・農場主任代理・学校評価委員長・職場代表）
- (2) 内 容（次第）  
①開会のことば ②学校長挨拶 ③協議：学校の近況、学校評価、生徒指導、進路指導・学習指導、生徒会活動、農業教育（各分掌代表） ④学校評議員からの意見・質問・提言 ⑤まとめと御礼（学校長） ⑥閉会のことば

#### 2 今回の実施に当たって工夫したこと

- (1) 本年度の総括として、学校評価結果や各主分掌の活動状況に係わる具体的な資料を提示することによって、学校理解を促進し客観的な外部評価をいただくことができた。
- (2) 広報紙（「更農 Now!!」）及び「更農 News Paper」（教務発行）を配布し、本校の特色と魅力、生徒の活躍の様子をビジュアル的に伝えることができた。
- (3) 意見交換では、今年度の本校の活動について、客観的な外部からのご意見をいただくことができた。
- (4) 学校評価においては、職員の自己評価だけではなく生徒の評価も加え、その意識の差という側面からもご意見をいただいた。

#### 3 今回話題になった事項で特徴的なものとその概要

##### 【感想・意見・要望】

- ・今後の農業科の教育課程や学科・コース改編の展望について、現在検討している内容を説明した。その際、学校評議員から「(教育の) 成果とは何だと捉えているか」という質問が出され、改めて教育活動の成果について協議することができた。そこで出た意見は、「生徒の力が伸びること」、「資格取得など外的評価を受けること」、「進路実績を作ること」などであった。
- ・来校者に対して生徒の挨拶が盛んであり学校全体の雰囲気が良い、現代では社会人であってもなかなか挨拶がしっかりとできない、このまま生徒を育ててほしい、とのお褒めの言葉を多くいただいた。
- ・自転車の乗り方（マナー）については、苦言をいくつかいただいた。地域の方々が迷惑している内容を教えていただき、今後の指導につなげる良い機会となった。

#### 4 成果と課題（学校評議員会以外の活用状況を含む）

- (1) 学校評議員の方々からは、肯定的かつ賛同のご意見を多くいただき、地域からの厚い期待と信頼を実感することができた。また一方、地域で直接見える生徒の様子や行動については、多くのご意見やご要望をいただいたので、真摯に受け止め、次年度の評価目標の設定の参考としたい。
- (2) 学校評議員の方々には、1年間をとおして評議員会以外にも、授業参観や収穫祭、研究発表会などの様々な行事にもご参加いただき、多角的な視点から教育活動をご覧いただき、評価していただくことができた。